

主催者あいさつ



藤田 靖

日本コンベンション研究会 幹事長

みなさまこんにちは。本日は多数お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただ今ご紹介に預かりました、日本コンベンション研究会幹事長の藤田と申します。石森先生も金沢に来ることを非常に楽しみにしていたのですが、風邪で高熱があるということで、大事をとっておやすみ頂きました。大変残念であり、また僭越ではございますが、私の方でご挨拶させていただきたいと思っております。

本日は20の都道府県からご参加いただきました。このフォーラムは今回で8回目を迎えるのですが、その中で最も多くのエリアからお越しいただいております。開催に至りましては石川県、金沢市、そして公益財団法人金沢コンベンションビューローの皆様、さらには共催を頂いております金沢市 MICE 推進協議会の地元の皆様に、温かく企画・運営・設営のご協力を頂きまして、このような運びとなりました。本当に感謝申し上げます。富山・金沢に新幹線が来る直前ということで、これからの受け入れ態勢の準備の非常にお忙しい中ではありますが、このような機会を頂き、我々も非常に楽しみにしております。

実はこの研究会はさかのぼること2006年、2007年に、札幌で2年連続開催しました。札幌でこのような勉強会を開催するに当たり、札幌だけで勉強していても全国の MICE の動きがわからないということで、当時多くの他府県の方をお招きして勉強会を開催しました。その2年間を通じて、東京の太田さん、鳥取の長谷川さん、松江の原さん、富山の羽根さん、こちら金沢の箕屋さんなど多くの方々が、この勉強会を地元でも開催できるようにしたいと希望され、持ち回りの勉強会が始まりました。2009年には松江・米子、2010年にはまた札幌、2011年に静岡、2013年に青森、2014年に札幌、そして本年金沢、そして次年度は岡山で開催することを先ほど総会で決定させていただきました。

日本コンベンション研究会の設立趣意には、従来の枠組みにとられないコンベンション創造により21世紀の新しい価値創造を目指す、そういった崇高な理念を掲げています。ご存知のように、皆様の地域にも2年前には考えられなかった多くの外国人客が訪れ、コンベンションも活発に開催されるようになり、一方でそれに対応する人材をどう育てていくかという問題、FITの増大によりコンベンションが取りにくいなどといった課題も浮き彫りになってきました。その中で、全国から集まったこのメンバーで様々な情報交換をして、我々の質を高めていくということが重要かと思っております。

今回は多数の講師の方々にお越しいただき様々に示唆に富んだお話を頂けるということで、大変楽しみにしております。ただ大変残念なことに、多くの方がご存知かと思いますが、MPIの元会長であります浅井様が1月9日にご逝去されました。今回、奥様がまだ喪が明けて間もない中ですが、この会にご参加され、後程ご挨拶を頂く予定になっております。浅井様のご冥福を祈る意味でも、皆でこのコンベンション業界を高めていくことが、私共の何よりもの使命と考えております。本日、明日と二日間、長時間にわたりまして皆様の時間を頂戴いたしますが、ぜひ最後までお付き合いいただき、この研究会が成功することを祈念しております。